

審議内容	
《開催結果の概要》	
1. 開会 2. 挨拶 3. 議題 (1) 包括的民間委託に係るモニタリングについて (2) 令和6年度城陽市水道事業会計決算及び令和6年度城陽市公共下水道事業会計決算等について (3) 包括的民間委託受託業者の活動視察	
《進行》	
《包括的民間委託に係るモニタリングについて》	
事務局：	資料番号1～5について説明
会長：	質問・意見等問う。
委員：	<p>市が行うチェックは、委託業者から上がってきた書面だけを見て行うのか。または、元データをチェックすることも含むものか。</p> <p>民間企業で行われている不正には、書面だけのチェックでは見抜くことができないこともあるが、書面にはない部分をチェックする機能があるのか、あるいは書面だけで充足するのか。不正が行われた際の対処法はどうか。</p>
事務局：	<p>主要な数値については、日次、月次の報告書にて提出されるが、委託業者が管理している浄水場等の元データは、市が随時閲覧することができる。</p> <p>報告書に疑義がある場合には、職員が委託業者とともに現地確認を行ったり、関係資料の提出を追加で求めたりするなどして、質を担保する考えである。</p>
委員：	随時報告による事故やトラブル、故障が起きた場合、第三者評価委員を入れて活用する等、行政側のチェック体制はあるのか。
事務局：	<p>障害やトラブルの重要度、深刻度によって異なるが、まずは委託業者が初動対応を行い、都度市に報告する体制としている。</p> <p>市職員も状況に応じて現地確認を行うが、それでもなお問題解決に至らない場合、設備等メーカーの担当者や学識者を招聘するなどして、トラブル解決に向けて深度を高めていくことを考えている。</p>
委員：	資料番号3の4頁の抜き打ち検査は、例えば半年に一回、予告なく市職員が行うのか、前出の、報告書に疑義があった場合に行うのか、どちらを想定しているのか。
事務局：	<p>報告書や、データベースに格納された数値をモニタリングし、疑義があった場合の抜き打ち検査を想定している。</p> <p>数値に疑義がないか、トラブル発生時の対応や設備修繕の管理に問題がな</p>

審議内容	
	<p>いか等を、予告することなく市職員が事業所や計装室に赴き、検査を実施していく。</p>
委員：	<p>ポンプ等の設備では、少しだけ通常と異なる振動をしている等、数値に表れにくい部分があるが、市側のモニタリングで担保できる体制になっているのか。</p> <p>また、10年間の長期契約であり、ベテラン職員が今後いなくなる可能性が考えられるが、市側のモニタリングの体制をどう維持していくのか。</p>
事務局：	<p>包括的民間委託を進めていく中で、委託業者が要求水準を満たしているかどうかを確認するモニタリング作業が、今後市職員が行う業務の大部分になってくるため、市としてはモニタリングの技術や知識を向上させていく必要がある。</p> <p>ポンプ等の設備のモニタリングについては、委託業者が毎日点検し、翌日には市に報告が来るため、その報告を確認しながら、機器に必要なメンテナンスを実施していく考えである。</p> <p>現在、知識やノウハウを引き継ぐため、市職員が委託業者と一緒に現場に入り点検を行っているが、ここには経験の浅い市職員も同行させており、市側にも知識等が伝承されるよう体制を確保している。</p>
委員：	<p>資料番号5は、紙ベースで委託業者から提出されるのか。今後のモニタリングに活用するため、データも提出させる考えはあるか。</p>
事務局：	<p>資料番号4の3頁「モニタリング実施計画 イメージ」最下に記載の「J-MAP」というデータベースに、水量等さまざまなデータが集約されるため、それらをポータルサイト内で市は閲覧でき、データとして残すことも可能となっている。</p> <p>これは、プロポーザル時に提案があったもので、都度格納される生データを見ることで、改ざんの余地も減っていくことが期待できる。</p>
委員：	<p>委託業者と契約を締結するなど、委託業者によるデータの外部流失を防ぐような方策は取っているのか。</p>
事務局：	<p>委託業者側のセキュリティポリシーにより、データベースは本社がコントロールしており、クローズドのシステムで、外からアクセスできないような仕組みで運用していると聞いている。</p>
委員：	<p>今後、市職員が実務から離れていくことで、年を追うごとに経験が減っていくため、それをどう足していくかが重要である。</p> <p>また、週次ミーティングにおいて委託業者からの報告を聞く中で、進捗確認をされると思うが、必要に応じて現地訪問を実施する等、週次ミーティングを職員育成の場として活用してはどうか。</p>

審議内容	
事務局：	指摘の趣旨を踏まえ、主任や主査級といった次の係長を担うような人材を、内容によって週次ミーティングに同席させる運用でやっていきたい。
《令和6年度城陽市水道事業会計決算及び令和6年度城陽市公共下水道事業会計決算等について》	
事務局：	決算書、資料番号6について説明
会長：	質問・意見等問う。
委員：	決算書において、消費税込みと消費税抜きの帳票があるが、税抜きの帳票を作成する必要性はあるのか。 また、消費税込みと消費税抜きで、減価償却費が一致していることから、税込ベースで償却をしていると思うが、それであれば税込みの方が実態に近いのではないか。
事務局：	消費税抜きで損益計算書を作るよう国からの指導を受けているため、収益的収支については、税抜きでの決算を表示している。 一方で、資本的収支については税込みで決算を表示している。 また、資産取得に係る消費税分は3条で整理したのち、資産取得時に税抜処理を行っており、減価償却費は税抜ベースでの償却となっている。
委員：	固定資産の除却について、営業費用と特別損失それぞれに計上されているが、どのような理由から特別損失に計上しているのか。
事務局：	固定資産の除却については、本来は営業費用の除却費に計上するところだが、金額が高い場合や非経常的な場合については、経営成績を明確にする観点から、特別損失に計上することとなっている。 今回の浄水場浸水対策に関しては、経常的なものではなく臨時的に発生したものであるため、特別損失に計上した。 一方、管渠の布設替えを行う耐震化等に伴う除却については、経常的な事業での経費であることから、営業費用の除却費に計上している。
委員：	①下水道会計は、累積欠損金が残っていることから、利益は出ているが未だ経営は苦しいという理解でよいか。 ②包括的民間委託が開始したが、広域化と包括委託の関係性と、DX化について、考えていることはあるか。
事務局：	①指摘のとおり、利益は出ているが経営は厳しいという前提は変わらずある。先の経営審議会でも示した財政計画の中で、資金不足の解消を目標としているため、その工程に従って資金不足を解消していきたい。 ②水道本管の漏水調査について、衛星を使った調査を京都府全体で実施すると京都府から提案があり、令和8年度からその事業に取り組んでいく。 また、包括的民間委託のプロポーザルでは、これまで職員の経験則による部

審議内容	
	<p>分が多くあった水量予測を、AI を使ったシステムで実施する提案があった。</p> <p>そのほかに、前出のデータ格納のシステム構築が提案されている。データの電子化により、関係者がリアルタイムに閲覧できる仕組みであり、正確性・即時性の向上も期待できる。今後、DX や AI の活用に向けて新たな方向性を見出していきたい。</p> <p>包括委託と広域化の親和性についての問いかけであるが、広域化は、国の考え方として都道府県主導で進めることとなっており、各自治体がバラバラに導入した包括的民間委託を統合・広域化することはハードルが高いとの指摘がある。一方で、各自治体の包括的民間委託が進んでいけば、近隣市で同じ業者が落札する、あるいは他の業者であっても共同関係を構築することも考えられ、末端の各自治体から広域化が進み、結果としてコスト低減につながることなどの効果を期待している。</p>
委員：	<p>衛星をつかった漏水調査について、パイを大きくすればそれぞれの単価が安くなると考えられ、他の都道府県も導入しているが、このコストは市の事業としてのコストなのか、それとも包括的民間委託事業としてのコストなのか、業務の棲み分けがどうなっているのか。その調査結果は包括的民間委託事業者へ共有されるのか、また共有することの課題はあるのか。</p>
事務局：	<p>水道の管路は、包括的民間委託の範囲外であるため、漏水調査は市事業として行う。</p> <p>京都府が参加する自治体を募ったところ、京都府下の半数以上の自治体が参加することになった。これまでは地面に聴診器を当てて漏水を調べていたが、今後は衛星で広範囲を調査し、ピンポイントで漏水の疑いのある箇所を検出できることから、調査の効率が上がることを期待している。</p> <p>ただ、コスト的な面では、現状は従来型の方が安価である。今後導入する自治体が増えればコストが下がる可能性もあり、国庫補助金の活用等、京都府や構成市町でコスト低減のため知恵を絞りたい。</p>
《包括的民間委託受託業者の活動視察》	
	事務局及び第3浄水場にて活動視察
会長：	質問・意見等問う。
委員：	大きな設備の掃除やメンテナンスはどう行っているのか。中に入って掃除するとなると時間も掛かると思うが。
事務局：	浄水場は、自動で掃除ができるシステムがあるほか、汚れが溜まらないような施設になっているが、どうしても汚れが付着する部分はあるため、職員が掃除を行っている。
4. 閉会	